



すごいぞ! 「しんかい6500」

ちきゅう なか うちゅう しんかい さぐ
地球の中の宇宙、深海を探る
やまもとしょうぞう しゅっぱん
山本省三作 くもん出版

しんかい おお 深海は多くのなぞに満ちた世界だ。六千五百メートルの
しんかい 深海では、指のつめ一枚の広さに小さな自動車一台分もの
ゆび いちまい ひろ 重さの水圧がかかる。そんな深海で有人探査を可能にした
すいあつ しんかい ゆうじんたんさ かろう
「しんかい6500」は、どのように誕生したのだろうか。
たんじょう
まずは「しんかい2000」の開発が始まった。深海か
かいはつ はじ
たんじかん もと 短時間で戻るための浮力材、操縦
ふりよくざい そうじゆう
しつ すいあつ まも 室を水圧から守る溶接技術、そして
ようせつぎじゆつ
そうじゆうし くんれん かだい やま 操縦士の訓練。課題は山ほどあった。
かつたんそう ちようさ かいていしげん せいめいたん
活断層の調査、海底資源や生命誕
せいぶつ はっけん かつやく
生につながる生物の発見など、活躍
する調査船しんかいの魅力に迫る。
ちようさせん みりよく せま

